

## 別冊パテント第26号〔目次〕

●ご挨拶……………日本弁理士会中央知的財産研究所所長 伊丹 勝

### 第1章 日本弁理士会中央知的財産研究所 研究報告第51号

#### 「イノベーション推進に向けた特許の保護対象—更なる研究—」

●序 文……………主任研究員 高林 龍 i  
●研究部会研究員…………… iii

- 
- ・特許適格対象の画定における物の本来の機能論の意義……………田村 善之 1
  - ・ビジネス方法・ゲームのルールに関する発明の特許性と技術的範囲の判断……………前田 健 25
  - ・AI 関連発明の発明者……………中山 一郎 49
  - ・米国における特許適格性をめぐる近況と発明の技術的特徴に関する一考察  
—機械分野の発明について判断したCAFC 裁判例の概観を交えて—……………山口 和弘 71
  - ・AI 関連発明の特許性・開示要件基準の日米欧比較  
—DX後の発明保護を見据えて—……………竹中 俊子 85  
伊藤 みか
  - ・欧州におけるコンピュータ利用発明の特許性  
—拡大審判部への付託事件G1/19〔ある環境下における自律的主体の動態のシミュレーション方法事件〕を手がかりとして—……………相田 義明 109
  - ・「データ（構造）」の特許法における保護……………下萩原 勉 121
  - ・均等論再論（均等の第5要件に関する更なる検討）  
—ボールスプライン事件最高裁判決（最高裁平成10年2月24日判決）から見た  
マキシカルシトール事件最高裁判決（最高裁平成29年3月24日判決）—……………三村 量一 137
  - ・複数主体が関与する製品、サービスに対する特許権の効力……………小栗 久典 153
  - ・侵害行為が国境をまたいで構成されるネットワーク関連発明の差し止め行為について ……湯浅 竜 165

---

●事項索引…………… 179

●アンケート…………… 185

### 第2章 日本弁理士会中央知的財産研究所 第18回公開フォーラム

- ・我が国商標法を考えるための5つのテーマ……………土肥 一史 189  
茶園 成樹  
上野 達弘  
横山 久芳  
外川 英明  
佐藤 俊司